

Social Interest

令和6年度 八日市高等学校

第2学年 学年通信(3)

令和6年(2024年)6月21日

◎Social Interest = 「共同体感覚」 = 「他者に関心を持つこと」

何百年も前に「①東京から大阪まで行く」となった場合、人は草木をかき分け、川を越え、山を登り何日もかけて大阪まで行ったのではないのでしょうか。今では「②東京から大阪まで行く」となった場合、人は新幹線、車などの乗り物を使い大阪まで行くのではないのでしょうか。①は自力100%であり、②は「他力」と言われるものがほとんどです。誰かが作った車に乗り、誰かが整備した道を使うといったように、誰かの力を借りて目的地に向かうはずで

す。

②の世界で生きる私たちは、多く事を「他の誰かの力」に頼って生活しているのです。そして、生まれた時からそのような恵まれた環境で育つ私たちは、他者の力で生きていることに気づきにくいのかもかもしれません。心理学者のアドラーは、現代を生きる私たちに足りない感覚「共同体感覚」(Social Interest)の必要性を指摘します。「共同体感覚」とは、一言で表すと「他者に関心を持つこと」です。日々の生活で私たちにその感覚を養う機会がありますか？スマートフォンに目を向け続けるのではなく、あなたの隣にいる「人」に関心を持って関わる時間はありますか？現代に生きる私たちの一つの行動は、他の誰かのおかげで成り立っていることに気づいているのでしょうか？

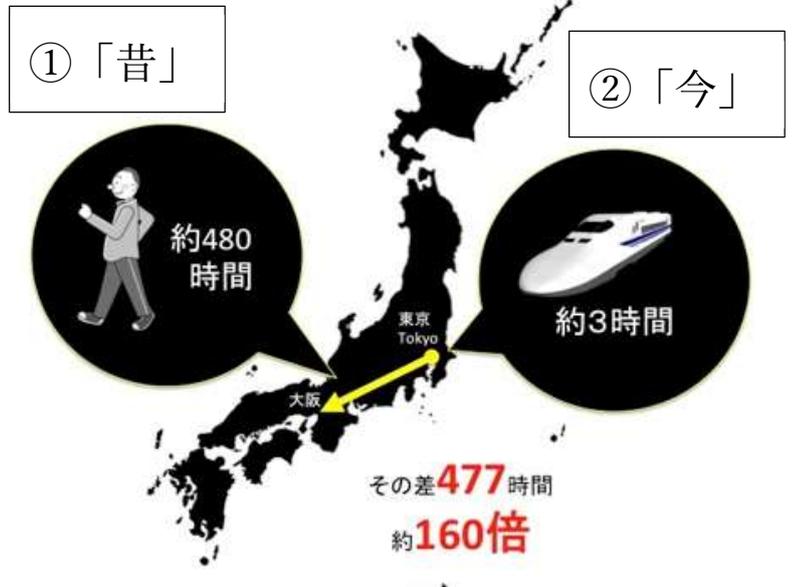


写真1 自給自足から役割分業へ

◎学園祭と修学旅行に向けて

さて、1学期末の考査が終わりました。あなたが試験に向けて取り組んできた勉強や、日々の部活動などの課外活動は、誰かの「力(他力)」になるための準備期間です。そして、これから取り組む学園祭の準備過程は、「他者と関わること」の難しさや楽しさを感じる場です。

また、夏休みが明けるとすぐに修学旅行で北海道に行きます。その事前学習として、総合的な探究の時間では、「仕事」と「学問」を結び付けて考えようとしています。修学旅行先では、様々な「仕事」に触れ、旅行後には、その「仕事」がどのよう



写真2 昨年度の学年レク(11月)

裏面へ続く⇒⇒



写真3 合唱する4組と平川先生（4月）



写真4 優勝クラスの1組と指揮者の吉田君（4月）

な「学問」と結びつくかを考えていきます。旅行先で私たちが触れる「仕事」も「他力」の一つです。「滋賀から北海道まで行く」道中には、飛行機を作る人、車を作る人と売る人、道路を整備する人、空港のレストランで働く人、トイレ掃除をする人など、様々な仕事があります。「他者の力」に気づきにくい環境で生きる私たちは、このような誰かの「おかげ」に感謝する心を意識して持つ必要があります。

学校生活において、私たちは誰かが目的を達成するのに必要な「力（他力）」を得るための活動をしているのです。あなたの努力が誰かの目的達成のために力になるのです。

社会では、お互い足りない部分を補い合いながら人々は生きています。そして、それが「共同体感覚」を持つて生きるということです。高校生活もまもなく折り返し地点、今からでも「共同体感覚（他者に関心を持ち、誰かのために生きること）」を持つて生きることができます。



写真5 総合的な探究の時間（6月）

◎今後の予定

6月24日（月）	学園祭準備
6月25日（火）26日（水）	AM 特別時間割（テスト返し） PM 学園祭準備
6月27日（木）28日（金）	学園祭準備
7月1日（月）2日（火）	学園祭準備
7月3日（水）4日（木）	文化祭
7月5日（金）	体育祭（彦根プロシードアリーナ）
7月7日（日）	進研模試
7月8日（月）～12日（金）	平常授業
7月16日（火）～18日（木）	①～③限授業 午後：保護者会
7月19日（金）	終業式、大掃除 午後：保護者会
7月22日（月）～	補充講座及び、進学補習講座（対象者のみ）